

## ニュージーランド 2025年最初のキウイフルーツ専用船が出航

[FreshFruitPortal](#) 2025年3月14日

ゼスプリの2025年ニュージーランド産キウイフルーツ輸出シーズンの最初のチャーター船が、タウランガ港から上海に向けて出航した。

2020年にゼスプリが命名したコーハイ号は、中国の取引先向けに120万箱(約5,400トン)のゼスプリ・サンゴールドキウイフルーツと16コンテナのゼスプリ・ルビーレッドキウイフルーツを運んでいる。

同船は3月末に上海に到着する予定である。シーズンが本格化する中、ゼスプリの今シーズン2隻目のチャーター船オリエンタルアイリス号も今週、東京に向けて出航する。

これらは、ゼスプリが今シーズン、ニュージーランドから合計2億箱、すなわち72万トンと予想される史上最大のゼスプリグリーン、サンゴールド、ルビーレッドキウイフルーツを世界中の50以上の市場に出荷するために使用する延べ61隻のチャーター船の最初の船である。

ゼスプリのチャーター船プログラムでは、船体内の貨物室に果実を保管するリーファー(冷蔵冷凍)船を使用する。これにより、途中で他の港に寄港することなく、目的の市場に直接航行することで、キウイフルーツの販売事業者であるゼスプリは、より多くの果実をより確実に運ぶことができる。

ゼスプリのジェイソン・テ・ブレイクCEOは、ゼスプリの最初のチャーター便の出発は、業界にとってエキサイティングな時であると述べている。(以下「」は同CEOの話)

「輸出シーズンが好調なスタートを切り、最初のチャーター船の出発は常に業界の話題になる。」

「業界内でこれほど強い信頼が寄せられているのは喜ばしいことだ。取引先と消費者がより多くの我々の果実を求めていることが、生産者のために良い価値を確保するのに役立っている。我々は、1億世帯以上に果実を届けるなどいくつかの重要な節目を達成してきたが、今シーズンは栽培と収穫に好ましい条件が整っていた。」

「我々の焦点は、この勢いを維持し、収穫を成功のうちに完了させ、シーズンを通じて高品質の果実を確実に提供することである。」

テ・ブレイクCEOは、生産者と収穫後の取扱業者とともにシーズン前に行った業界の包括的な計画の段階で、販売シーズンの早期開始に重点を置いていたと言う。

「ここ数カ月、ニュージーランド以外のゼスプリの産地で栽培された果実に対する強い需要が続いており、このことは、今後数週間でニュージーランド産の果実に移行する際、我々の立場を強くする。」

「市場に配置されたゼスプリの営業・販売チームは、今年も強力な販売キャンペーンを確実に展開するため連携企業と緊密に協力してきており、その多くは当社の象徴的キャラクターであるキウイブラザーズを取り上げている。今後1年間を通じたこれらの展開に期待している。」

今シーズンのチャーター船は、北ヨーロッパへ3便、地中海諸国へ14便、北米西海岸へ1便、アジア諸国へ43便を予定している。残りの輸出力はコンテナを使って出荷される。